

衆議院外務委員会ニュース

平成 30.5.30 第 196 回国会第 13 号

5 月 30 日（水）、第 13 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 鈴木貴子君(自民)

補欠選任 理事 熊田裕通君(自民)(理事鈴木貴子君今 30 日理事辞任につきその補欠)

2 国際情勢に関する件

・河野外務大臣、土井復興副大臣、中根外務副大臣、高木厚生労働副大臣、山本防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

佐々木紀君（自民）

- ・米朝会談の開催の見通しや会談の展望について河野外務大臣の見解を伺いたい。また、河野外務大臣がシンガポール訪問との報道があるが、その予定はあるのか。
- ・政府が、中国の「一帯一路」に協力する姿勢を打ち出していることについて、政府の考え方を伺いたい。
- ・我が国が第 6 回アフリカ開発会議（T I C A D）で表明した、今後 3 年間で 300 億ドル規模のアフリカへの投資は順調に進んでいるのか。

篠原豪君（立憲）

- ・米国が我が国との事前協議なく北朝鮮との対話を決断したことについて、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮の非核化に向けた交渉において、我が国を射程に収める北朝鮮の中距離弾道ミサイルの問題が置き去りになることを避けるためには、どのように対応すべきだと政府は考えているのか。
- ・拉致問題を解決するためには、安倍総理が金正恩国務委員長に直接会う必要があるのではないか。

小熊慎司君（国民）

- ・北朝鮮の豊溪里にある核実験場の坑道爆破は、「完全に検証可能かつ不可逆的な非核化」（C V I D）の原則からはかけ離れていると考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・国連において「手話言語の国際デー」決議が採択されたのを契機として、手話言語に対する社会全体の意識向上に向けた取組をどのように行うのか。
- ・第 8 回太平洋・島サミット（P A L M 8）（2018. 5. 18～19）で採択された首脳宣言において、「東日本大震災」

との文言は盛り込まれたのに対し「原発事故災害」の文言が盛り込まれなかった理由は何か。

岡田克也君（無会）

- ・北方四島における共同経済活動に係る交渉において、法的基盤の諸問題についての検討の状況はどうなっているか。合意できる見通しはあるか。
- ・北方領土問題について、まず共同経済活動について協議するというアプローチは限界にぶつかっており、領土交渉を行うべきではないか。
- ・2014 年 5 月のストックホルム合意に係る北朝鮮との交渉に失敗したことから何を教訓として学ぶか。なぜ交渉がうまくいかなかったか。

穀田恵二君（共産）

- ・防衛大綱及び中期防衛力整備計画の見直しに向けて自民党がまとめた提言に盛り込まれた G D P 比 2 % の防衛予算確保の目標値について、河野外務大臣はどのように考えているのか。
- ・トランプ大統領が、対北朝鮮軍事行動が行われた場合の費用は日韓が負担する旨発言したが、日米間にそのような合意はあるのか。
- ・北朝鮮の核・ミサイル問題は対話を通じて段階的に解決を図るしかないと考えるが、河野外務大臣はどのように考えているのか。

丸山穂高君（維新）

- ・政府がサイバー攻撃に対する防衛のため、第三者のサーバーを介して反撃を行った場合、現行の刑法や不正アクセス防止法等の違反になるのか。

- ・米ニュージャージー州における新たな慰安婦像の設置や連邦議会議事堂における慰安婦像の「特別展示」の動きについて、河野外務大臣はどのように考えているのか。
- ・慰安婦問題を巡り国連において我が国への批判を繰り返し、さらに慰安婦問題研究所の開設を表明した韓国は、国際社会において互いに非難・批判することを控えることに合意した2015年12月の日韓合意に違反しているのではないか。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。